http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyouikunojouhouka_top.html

# さがみはらGIGA通信 第３号

令和３年１０月２２日　相模原市教育センター　学習情報班　発行

GIGA スクール構想の推進に伴うタブレット PC 等の整備により、義務教育段階の学び方が変わり始めています。さがみはら GIGA スクール通信では、相模原市立小中学校等が取り組む、新たな学びの姿をレポートしていきます。第３回は小学校３年生の様子をお届けします！

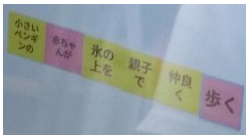
## 文章づくりを楽しもう！

10 月、作の口小学校の３年生では、国語の授業でタブレット PC を活用していました。学習課題は「修飾語を使って文章をくわしくしよう」。文章のつくりについて、前時までに、主語と述語について学習したことを踏まえ、文章をより詳しく扱うことができるようになるよう、修飾語の学習に取り組みました。

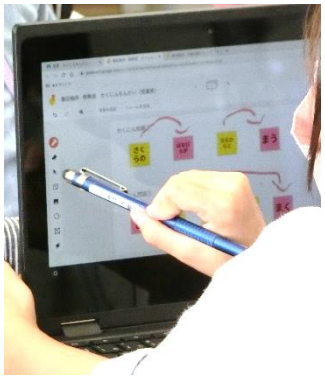
授業の最初は、主語と述語の振り返りとして、先生が Jamboard で電子ワークシートの確認問題を作成し、「さくらの」「はなびらが」「ひらひらと」「まう」といったセンテンスを黄色の付箋で示し、児童は主語、述語の付箋を黄色からピンクに変えました。また残った黄色の修飾語の付箋が、どの主語、述語にかかっているのか、矢印で書き込みました。

今回活用したサービス
Google Jamboard

その後は、今日の課題に取り組みます。３つの主語述語だけで表された文章を、資料で示された写真などを参考に、自分なりに Jamboard 上に修飾語の付箋を次々とつくり、詳しくしていきます。文章を紙に書くことが苦手な児童も、文章を豊かにすることを楽しんでいて、ICT の活用があらゆる児童の学びを支える可能性を見ることができました。




▲提示された写真を基に発想した文章



▲児童は、文章を詳しくすることに楽しんで取り組みました。

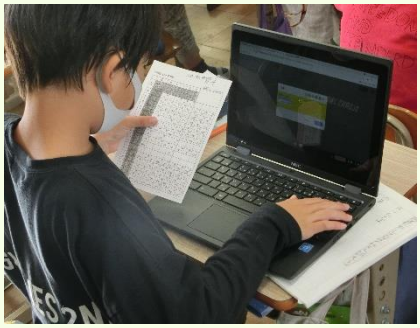
◀付箋の色を変えることで視覚的にも文章の構造が分かりやすくなっていました。タッチペンは全員同じものをそろえました。

▼終盤はつくった文章を紹介しあいました。

### １人１台端末を使い相模原市立学校で育成する情報活用能力の各要素（小学校３年生段階）

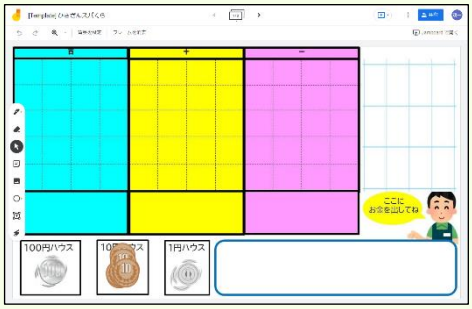
| 発達の段階 | 情報活用標準スキル | | | | ICT 活用標準スキル | プログラミング教育 | | | 情報セキュリティ・モラル | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 課題 | 収集 | 吟味 | 表現 | | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 | 心をたがやす | 知識を身に付ける | |
| 3年 | 3－（1）<br>○みんなの意見からが題をつくろう<br>・テーマに沿って意見を出しあおう<br>・出た意見をもとに、疑問を出そう<br>（教室と、グループ ウーミング） | 3－（2）<br>○集めたじょうほうをくらべてみよう<br>・インタビューで情報を集めよう<br>・ファイルに情報を保管しよう<br>ファイリング | 3－（3）<br>○情報をグラフで表はする<br>・調べたことをグラフにしてみよう<br>棒グラフ、アンケート調査 | 3－（4）<br>○資料を見やすく工夫する<br>・コンピュータを使って資料をつくる<br>・ＩＣＴ機器を利用して発表する<br>表、グラフ | ・様々な文字や記号を入力する<br>・短い文章（５０文字程度）を入力する<br>・自分の考えなどをローマ字入力する<br>・文書処理ソフトや表計算ソフトなどの、ソフトファイルを使用する。<br>・作成したファイルを保存、印刷する | 生活でのコンピュータの活用や、それがプログラムによって動いていることへの気付き | 思考の手順を意識して試行錯誤できる力 | コンピュータの働きを、本体的に活用の中で生かそうとする気もち | 作事のことを考え、自分の発言に責任をもつ①<br>文章だけでなく、絵も使いながら<br>5・（6）教室、ホいやり | 自分の情報だけでなく、他人の情報も大切にする②<br>協力<br>意味を考えながら話し合おう<br>「つかえっう、楽、いつ仕事」 | 情報に困惑ったものもあることにあづく③<br>引き<br>「わたしたちのまちしらべ（学校マニュアルをもとめよう）」 |

## １人１台環境の学びにチェンジする取組



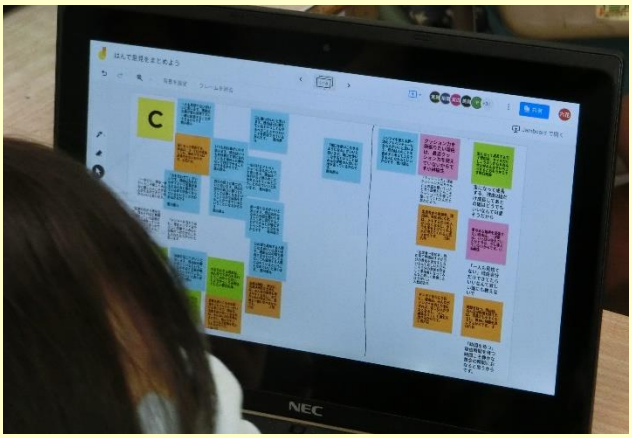
◀3年生はローマ字を習う学年です。キーボード入力を行いたいときにときにすぐに確認できるローマ字カードを各自が持っていました。

大型提示装置に▶は、常時、共有したい情報が投影されています。例えば、課題提出状況がリアルタイムで見られるので、児童のやる気につながっていました。




◀情報担当を中心に開発した様々なシートを共有し合っています。写真は算数の位取り板です。

## 他校の３年生はこんな活動をしていました



▲谷口台小学校の３年生でも Jamboard を使って意見をまとめる国語の授業をしていました。キーボードの練習を普段からして文字がびっしり。

◀児童自らがプログラミングの授業を行う活動も行われていました。

## こうして実現! １人１台活用の工夫

作の口小学校のこの取組は、どのような工夫で実現されたのでしょう？３年３組担任の冨留宮奈於先生、学校の教育の情報化担当、澤口萠先生にインタビューしてみました。

**タブレット PC を使えるようになるための工夫と、おすすめはありますか？**

教育の情報化担当が中心に、授業ですぐ使えそうな活用法の校内研修を頻繁に行っています。この時に学んだことの中で、各学年として使えそうなものを、たくさん授業で実践しています。そのため、児童は自然にタブレット PC を使えるようになり、今では児童の方から授業での使い方の提案が出てくるようになりました。

**児童が上手に使えるようになるために、どのように約束をつくっていますか？**

「さがみはら GIGA スクールハンドブック」に例示されていた「人の幸せにつながるような使い方をしよう」を常に意識し、「さがみはら GIGA 通信第２号」にあった３つの約束クラスの児童に提示しています。特に「③自分の意見をのせるときは、受け取る人の気持ちを考える」を大事に伝えています。

**最初のうちはトラブルがあったと思いますが、どのように解決しましたか？**

「こんな困ったことがあった」という事案を、全学年で、教育の情報化担当に１回集約します。そして、解決方法も含めたそれらの情報を、担当が全学年に共有するようにしています。

児童指導担当などと連携し、校内で統一の指導方針のもとトラブル解決を行っているので、一見新たな指導の問題のように感じてしまうようなタブレット PC が関係するトラブルにも、全学年でブレずに指導や解決を行うことができています。

**１人１台環境の学びで期待していること、児童に期待していることはなんですか？**

子どもたちが、一人ひとり、自分で学び方を選べるようになることです。児童自身が、あることが苦手であっても、自分の得意な方法で、学習などの問題を解決できるようにしていきたいです。